

玖珠産米「ひとめぼれ」食育授業開催

～食べれば地元が好きになる！～



6月11日、日出生小学校（佐藤明彦校長）、6月17日、森中央小学校（梅木孝史校長）と北山田小学校（竹内浩一校長）で、食育の授業が行われました。

今回の食育授業は、3年連続で「特A」の評価となり、ブランド米として高い評価を受けている玖珠産米「ひとめぼれ」をテーマに、玖珠米を熟知する外部講師を招き行われました。また、玖珠米を深く知ることによって地域農業のすばらしさや、郷土愛が育まれることを目的に行われました。

授業では、大分県西部振興局の栽培普及担当職員、グリーンプラザ良心市の玖珠米販売担当者、栄養教諭の3名の講師が5年生児童（日出生小学校は全校児童）に、米の栽培方法や玖珠米の魅力と販売戦略、ごはんを中心とした食事の大切さ、ありがたさなどについて詳しい説明を行いました。

授業後半では、玖珠産ひとめぼれ、新潟魚沼産コシヒカリ、ブレンド米の3種の食べ比べを行い、ごはんの匂い・食感・味の違いなどを体験し、一番美味しかったものを選びました。美味しさの感じ方は人それぞれですが、日頃給食で食べている玖珠産米「ひとめぼれ」の人気は高く、その特徴と美味しさのひみつを体験できる授業になりました。

その他の小学校では、秋に食育授業を行う予定です。

玖珠町では「玖珠町学校給食『地産地消』基本方針」に基づき、ごはんは玖珠産「ひとめぼれ」を使用するなど町内で生産される米・麦・野菜・椎茸・肉類などの食材を積極的に活用しています。

☎ 学校給食センター ☎ (72) 0919

桃太郎像がつかないだ絆 北九州市との交流イベント

145回を迎えた久留島武彦の生誕日、6月19日に、北九州市立平野市民センターと北九州市立大学の学生で構成される太鼓と平和を考える学生連絡協議会が来町し、旧久留島氏庭園内の桃太郎像の前で交流イベントを行いました。

今回の交流イベントのきっかけとなった桃太郎像は、久留島武彦の桃太郎主義（違うもの同士が頼り合って助け合って共に生きていく共同共生の精神）にちなんで昭和13年に北九州市の旧到津遊園に設置されたもので、戦時中の金属類回収令を免れ、昭和24年に玖珠町へ寄贈されたものです。

また、絵本作家・原賀いずみさん（北九州市）によって「ももたろうからのてがみ」という絵本になったこともあり、今回、久留島武彦記念館によって交流イベントが企画されました。

イベントでは、北九州市の学生らが平和太鼓を披露し、玖珠町からは、森童謡を歌う会が久留島先生童謡五十年讃歌を歌い交流を深めました。



【昭和24年7月28日】



【令和元年6月19日】